

豊島支部
オリジナル
「LINE@」

LINEを使っている方はぜひご登録をお願いいたします。支部からの情報発信を定期的にお送りいたします！



↑QRコードで読み取りください

けんせつ北部

購読料は組合費の中に含まれています。定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人代表者 佐藤 広平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

11月23日(祝・金)、豊島総合体育場にて開催された第46回ワンパクまつりは、雲ひとつない晴天と季節外れの暖かさに恵まれ、実行委員会の発表では約2400人の来場し、当日は大盛況でした。



ベテランと若手が一緒に

第46回

ワンパクまつりを開催

恒例の上棟式も大盛況



若手組合員が頑張り、上棟式組み

年末仲間づくり 組織強化特別行動

6年連続の組織実増を実現し2019年を迎えよう

10月をもって終了した秋の仲間づくり運動は、11年連続で全分会目標達成し、組織実増を勝ち取りました。しかしながら、月間勢は2109人ととなり実増ギリギリの状況です。この先、滞納脱退などを一定数見込んだ場合は、2109人を割り込む可能性もあり得ます。豊島支部でも、この厳しい現状を真摯に受け止めて、これ以上の組織の減少を食い止めるために、12月を「年末仲間づくり

た。豊島支部からは21人の仲間が参加し、コッパトイ、モザイクタイル写真立て作りなどに350人の子どもたちを迎え、親子で夢中に楽しんでいました。

写真立て作りは大好評で用意した数が足りなくなるほどでした。そして恒例の上棟式も2回行いました。また、上棟式が行われた午前と午後後の間の時間を利用して、上棟式の学習会も行われました。



団結で賃金、単価の引き上げと国保予算を勝利

主権者代表である全建総連の吉田委員長は「建設業の担い手確保と若者の入職できる建設現場にすることが喫緊の課題だ。しかし、設計労務単



大工工作は350人の子どもが参加

た。組み上げた家組を一度解体して再度組み上げる、一連の作業を若手組合員たちがみんなで行い、ベテラン組合員がそれを指導する形で学習会が行われました。

上棟式が始まる際には、お菓子まきを待つ多くの区民の前で、上棟式の由縁や意味が支部役員により詳しく説明され、同時に東京土建豊島支部の活動も大いにアピールすることが出来ました。

11月20日(火)午後12時半より、日比谷野外音楽堂に(小音楽堂も含め)50県連・組合、3760人が結集しました。東京土建は当日の午前中、全都建設労働者対都要求行動で各局に対する交渉と請願を行い、引き続きの集会となり豊島支部から38人の仲間が参加しました。

基調報告のなかで、勝野書記長は「社会保障が圧縮されるなかで、仲間の命を守る建設国保の現行水準を確保しなければならぬが被保険者が減少するも医療費の伸びを予想した増額が必要だ。ハガキ要請や議員要請など、いっそうやり切ろう」と訴えました。



東京駅へ向け元気よくデモ行進

過酷な労働実態

さらに多摩市のビル火災での被災者の補償問題や新国立競技場や丸の内現場など過酷な労働実態にふれ、週休2日制実態が労働者の減収になったり、時間外労働や36協定が厳格に守られていない現状を訴えました。また、入管法改正案に言及し、外国人労働者受け入れを無責任に拡大して、技能実習生を使い捨てに

先般、9月に豊寿クラブで開催した終活セミナーでの講師の言葉に、最近、本格的な葬儀の形態がうすれ(特に都市部では、家族葬、密葬、樹木葬や果てはお骨を海へ散骨するなど、故人を送る形態が変化して簡略化されてきたとの説明がありました。

ある宗教者が言っていたのが気にかかりました。「日本の葬式は世界に類のない葬式代の高い国だ。しかも、葬儀にかかる値段も良く解らない」「ありがたみの解らないお経や戒名に多額のお金を払う、故人の個性を重んじた葬儀にも見えない。そもそも故人が日頃お経を心の支えにしてきた覚えもないから、出費の割には魂を慰めたという満足度もいまいつだ」と喝破してしました。

▼とにかく、葬儀はもとよりお寺との付き合いには何かとお金が掛かりまは、俗世に生きる私たちは、それぞれの考えと自己満足で葬儀やお寺との付き合いを考え直したほうがいいのかもかもしれません。



先般、9月に豊寿クラブで開催した終活セミナーでの講師の言葉に、最近、本格的な葬儀の形態がうすれ(特に都市部では、家族葬、密葬、樹木葬や果てはお骨を海へ散骨するなど、故人を送る形態が変化して簡略化されてきたとの説明がありました。

11・20 賃金単価引き上げ 全建総連中央決起大会

全国の仲間の団結と労働者の共同のたたかいで

賃金・単価の引き上げを！

池袋分会 作田 信義



池袋分会がバスハイクを開催
千葉・小湊温泉と濃溝の滝へ
新酒の試飲と海の幸を堪能

池袋分会 安藤 慎一

11月25日(日)に池袋分会恒例のバスハイクがおこなわれました。今回は千葉県小湊方面へ出かけました。途中、小湊温泉に立ち寄り、新酒の試飲を楽しみました。とどころ紅葉が見られる「濃溝の滝」を見物して、昼少し前には小湊温泉「吉夢」に到着しました。「鯛の浦」が一望できる展望風呂にも浸かり、新鮮な海の幸の昼食を存分に楽しみました。三連休の最終日ということもあり渋滞が予想され、午後3時過ぎには帰路につきました。しかし、それほど渋滞もなく無事に午後6時前には池袋に到着しました。



クリスマスツリー作りに夢中の子どもたち

秋晴れの11月11日、上ル、踏み台などの木工工作や包丁研ぎ等々、毎回お風のために延期となった恒例の第41回住宅デーがはじけ、クリスマスツリーづくり、地元消防署によるAED体験や消火訓練、ボランティアによる

熟練の職人もこの日はかいし！
笑顔でおもてなし

上池袋本町分会が住宅デーを開催
上池袋本町分会 高野 宏



住宅相談にも応じました



大盛況の木工工作



ちびっこ防災訓練

災害時の炊飯など、バラエティ豊かでした。

おからドーナツに焼きそば、フランクフルト、駒込福祉作業所の手作り

クッキーなどの充実のフードコーナーもあり、800人以上の来場者が、穏やかな日曜日を楽しみました。

日頃は熟練の職人である組合員たちも、この日は笑顔で家族連れや近隣住人の方々をもてなし、各ブースを通して日頃の活動を知って頂く一助となりました。

東京土建けんせつ「通信員総会」に参加して

「働く」ことで社会とつながる

機関紙「コンクール」の審査も開催

教宣部長 新井 睦子



11月18日(日)けんせつプラザ東京にて、東京土建の通信員総会が開催されました。参加人数は87人、豊島支部からは5人の参加でした。

午前中の記念講演は、「共同労働で生命を活かす、心を開く、地域をつくる」ワーカーズコープの田中羊子さんと、「日本労協新聞」について「松沢常夫編集長のふたつ

豊島支部 「けやき」「さくら」が入選

の記念講演でした。ワーカーズコープが日本にできて40年、法制化も間近。歴史と到達点についてお話しいただきました。「この社会のどこにも自分の居場所がない」と感じる人の増大。働くことで自分の居場所がはつきりする。その自尊の感情、肯定感が命を支える。共同労働は確かな命のつながり方をする働き方。という考え方に感動し、賃金を得るためだけの労働ではない。働くことが生きがいになるという働き方があることに気持ちが明るくなりました。午後からは、機関紙「コンクール」審査・投票がありました。

豊寿クラブ恒例 秋のバスハイクを開催

秋景色の日光に心を奪われて
ご馳走と天然温泉に癒やされる旅

南池袋分会 間辺美恵子

11月13日(火)「日光ゆば製造見学と東照温泉入りバスの旅」に会員36人が参加しました。時折、雲のあいまから太陽が顔を覗かせ、心地よい行楽日和となりました。

バスは東海道・佐野SAで休憩をとり、その先は渋滞を避けて一般道で向かいました。宇都宮を

過ぎると一気に紅葉がすすみ、日光の山里の秋景色に心を奪われながら日光ゆば製造に到着です。

作り立ての「ゆば」を試食し、おみやげを買って次に東照温泉を目指して出発です。「旅館・福田屋」でみんな揃って記念写真、早速、待ちに待った宴会と入浴です。大皿に盛りだくさんな海の



参加者全員で記念撮影

幸のお刺身や福田屋さん自慢の鶏のから揚げは大きくボリューム満点、ご馳走にみなさん大満足です。以降の現金の出し入れは年内でできません。①12月27日(木)午後5時〜午後9時自動車共済 0120-89-8819 ②1月7日(月)午前9時〜午後10時自動車共済 0120-727-110

年末 受付のご案内

①12月27日(木)午後5時〜午後9時自動車共済 0120-89-8819 ②1月7日(月)午前9時〜午後10時自動車共済 0120-727-110

緊急時の連絡先

●年末年始に労災事故にあった場合は、まず病院で受診し、年明け後に支部に連絡してください。●年末年始に保険証を紛失した場合、必ず警察に届けてください。再発行は後日おこないます。